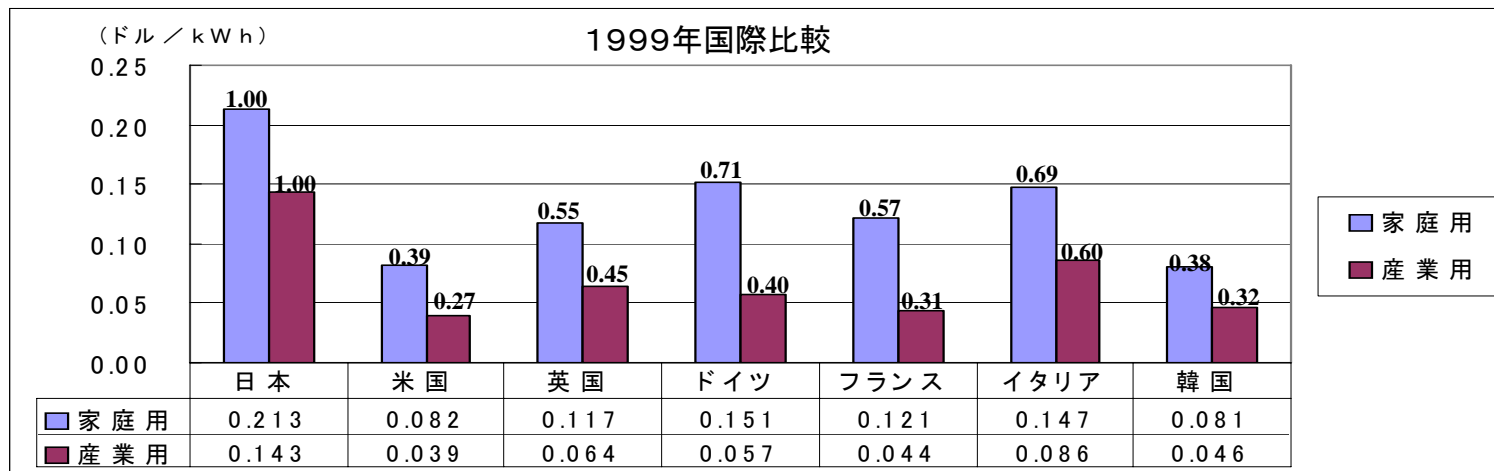


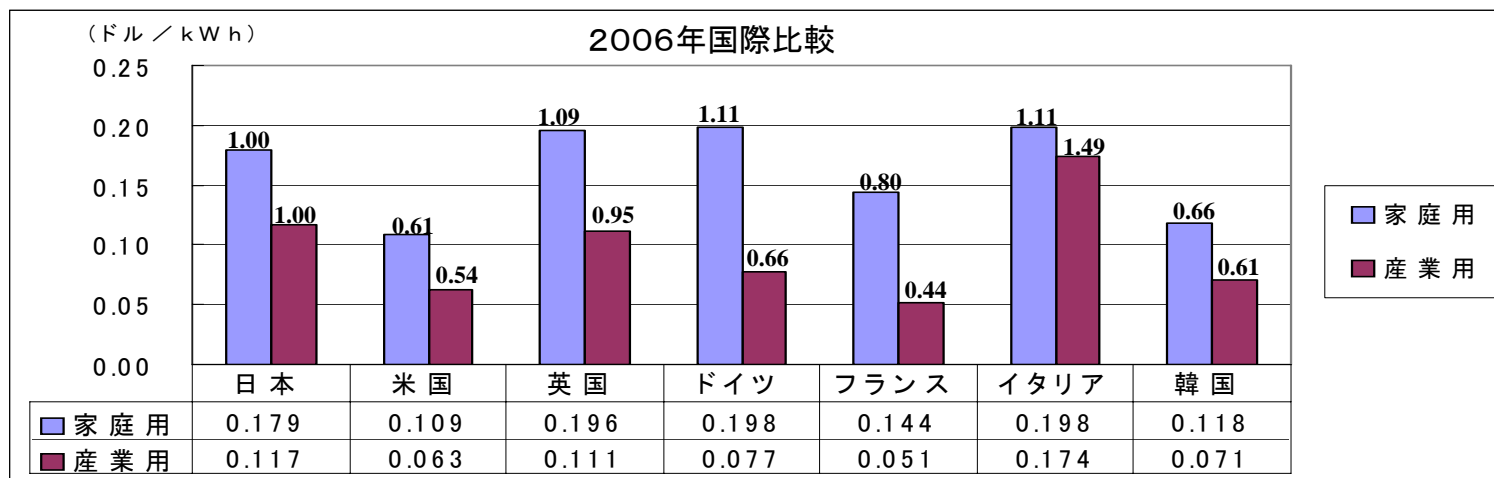
# ①電気料金－国際比較－

➤ 国際的に見て、**内外価格差は**一部の国との間では依然残るものの、**縮小している**。

自由化導入直前



現在



※1999年と2006年の各国の為替レートを元に算出(米国、英国(家庭用)、韓国は2006年7～9月、英国(産業用)は2006年4～6月、イタリアは2005年、ドイツは2004年の値)

※各国の1年間の使用形態を限定しない平均単価を計算したもの。

※産業用料金の中には、業務用(商業用)の料金を含むものと含まないものがある。日本の産業用料金の中には業務用の料金を含む。

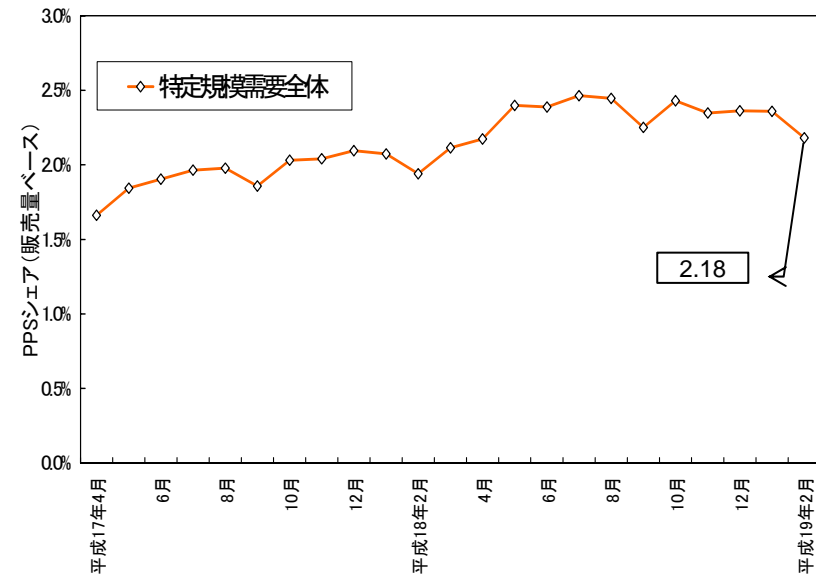
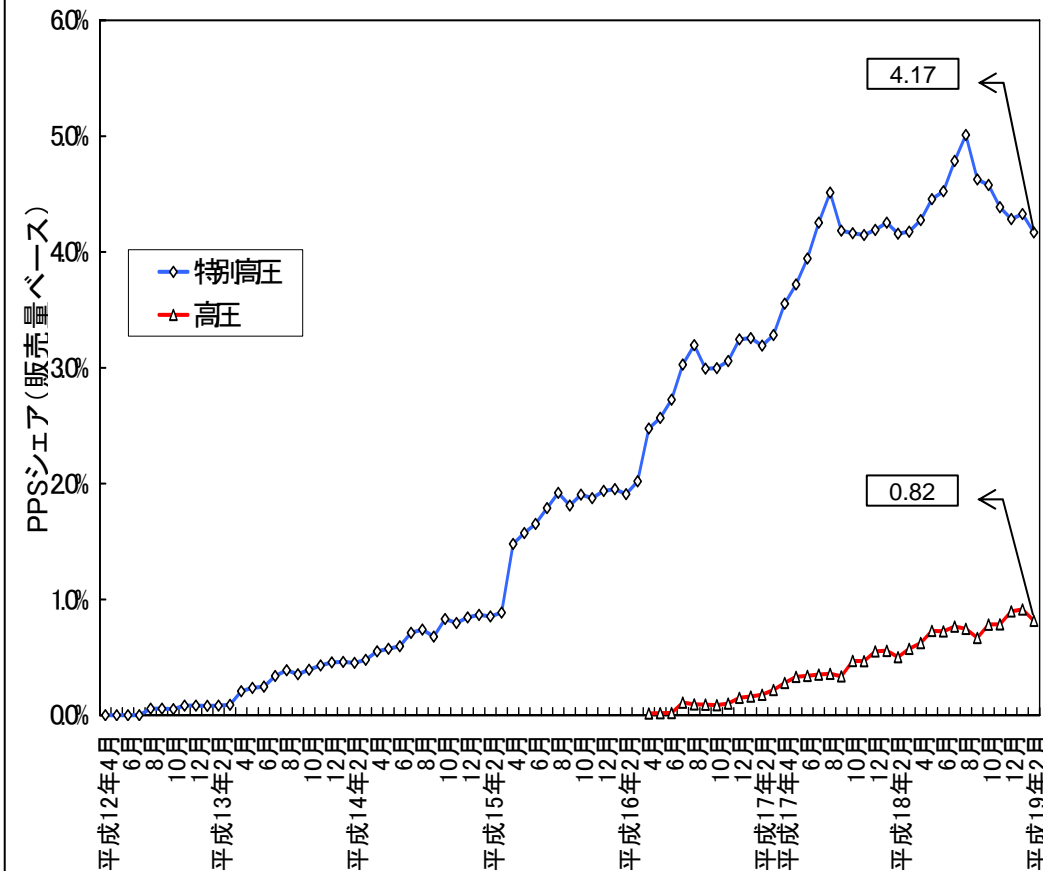
※アメリカについては課税前の価格。

※グラフ上の数値は、日本を1とした場合の各国の価格の比率

## ②競争状況－PPS販売電力量シェア(全国)－

- 小売部門における部分自由化の導入以降、**PPSの販売電力量シェアは増加しているが、未だ低い水準**であり、直近では伸び悩む傾向が見られる。

PPSの販売電力量シェア(全国)



- H19年2月現在のPPSシェア  
 特定規模需要全体： 2.18%  
 特別高圧： 4.17%  
 高圧： 0.82%

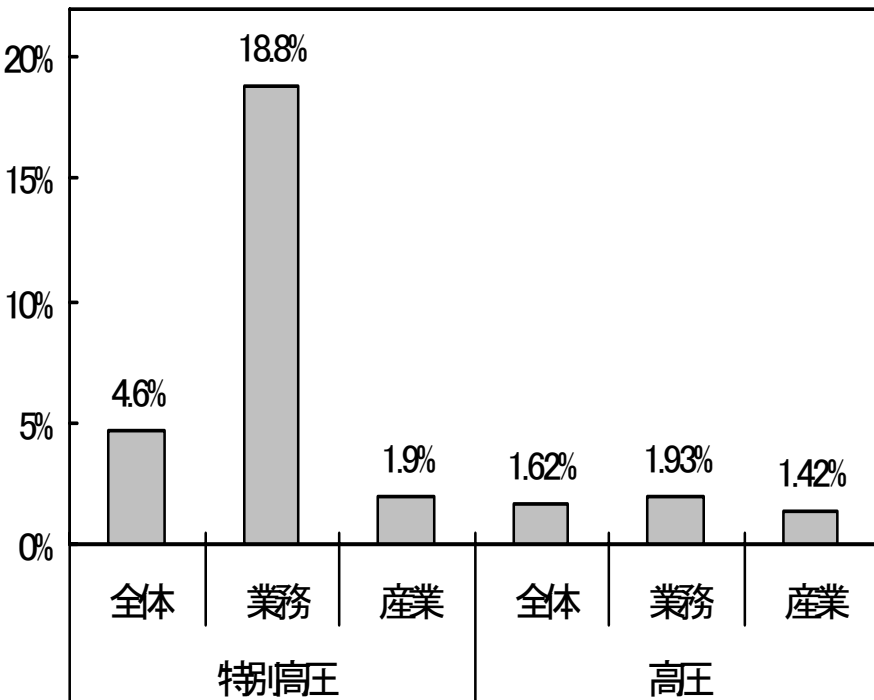
※平成16年度のシェアは平成17年度と同様、高圧50kW以上の需要に対するシェアを記載。(統計の制約から、高圧50kW以上の需要には、選択約款の対象需要をすべて計上。)

## ②競争状況－PPS販売電力量シェア(地域別、需要種別)－

- PPSのシェアは特別高圧業務用においては相対的に高くなっているが、高圧や産業用では低いシェアにとどまっている。
- 地域別では、大都市圏において相対的にシェアが大きく、地方においては低いシェアとなっている。

PPSの販売電力量シェア(需要種別)

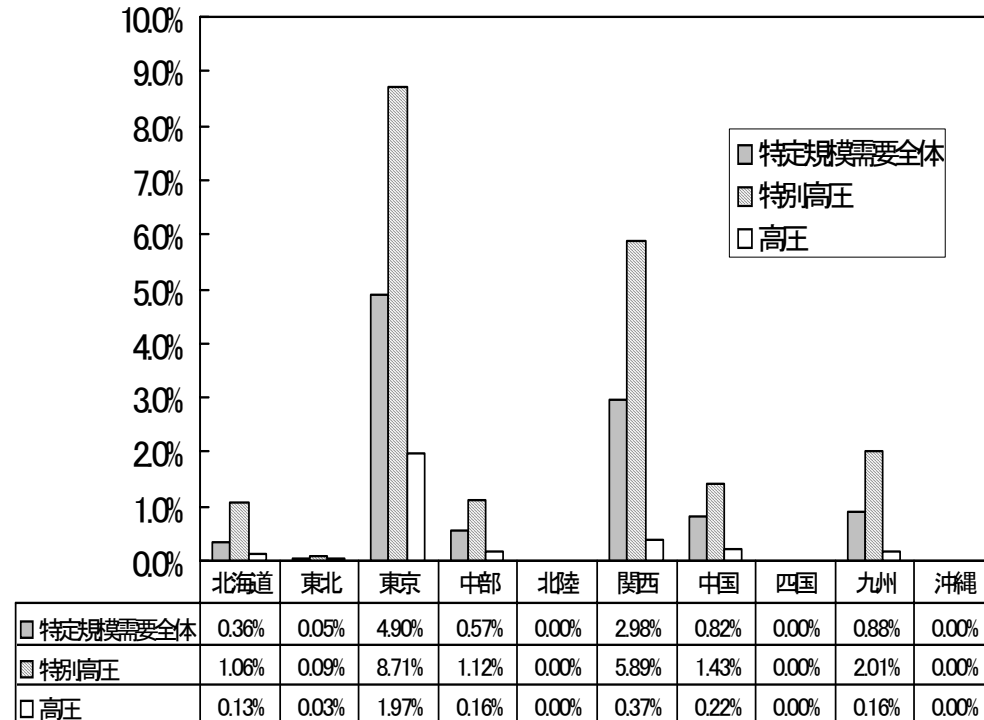
平成18年4月～9月の実績値



出所:平成18年度上期電力需要調査

PPSの販売電力量シェア(地域別)

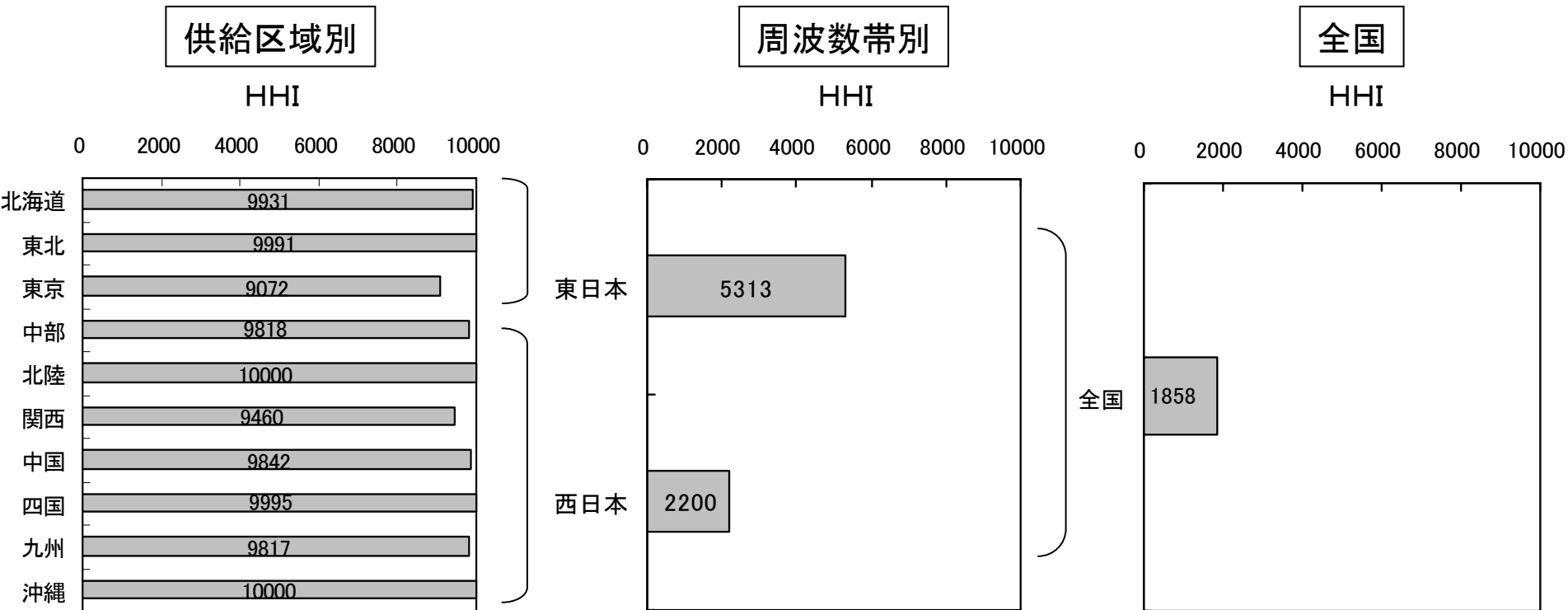
平成18年4月～平成19年1月の実績値



出所:発受電月報

## ②競争状況－HHI指数評価－

- HHI指数で評価すると、仮に全国大の市場を想定した場合、**HHIは1,800程度となっております、外形的には「やや集中している」状態**にある。
- 仮に**供給区域別の市場を想定した場合**、HHIは9,000～10,000であり、**外形的にはほぼ独占状態**にある。



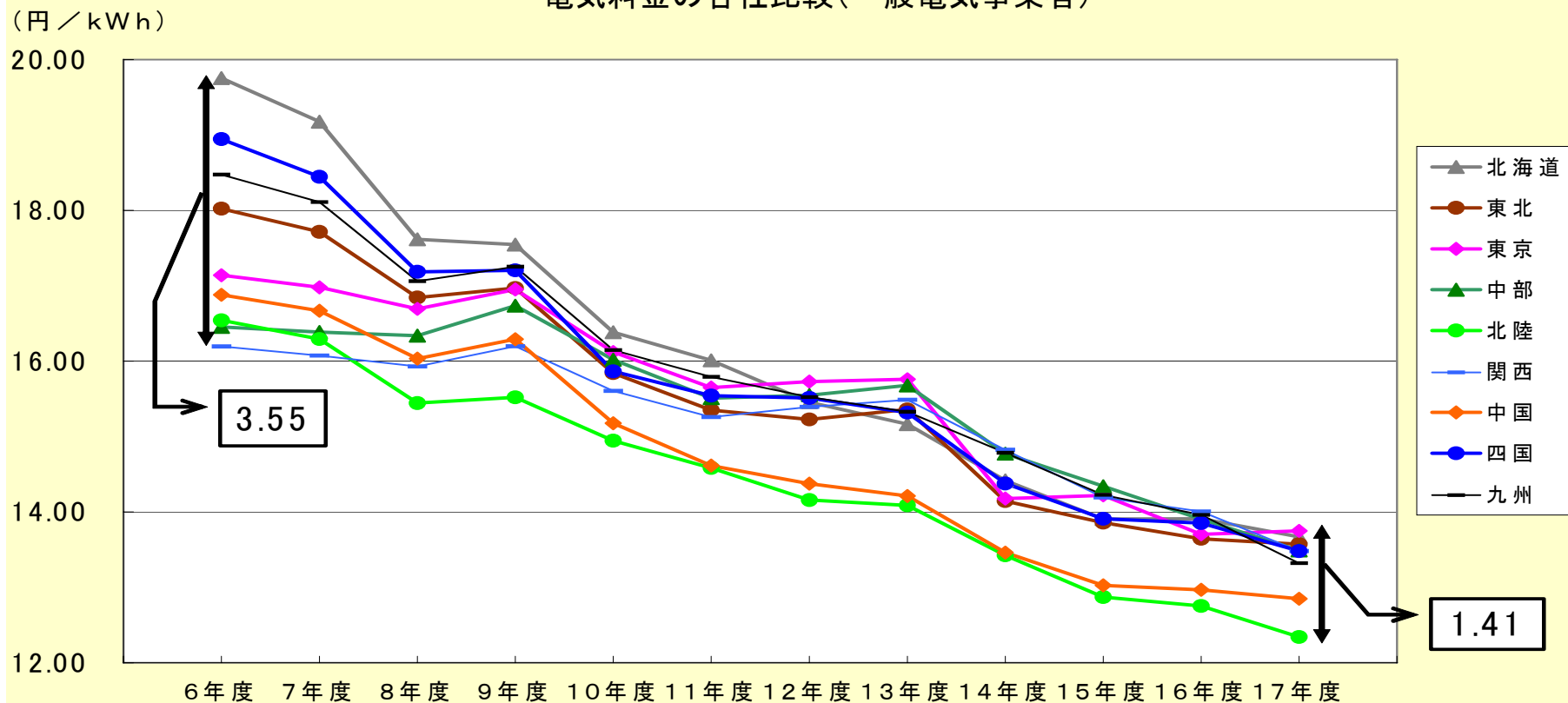
平成18年1月～12月の実績値

(注: HHI = 10,000の場合に完全独占であり、HHIがゼロに近づくほど競争状態である。EUや米国では1,800以下で集中度はやや集中している (moderately concentrated) と評価される。1,000以下なら競争的と判断される。

## ②競争状況－電気料金(一般電気事業者間比較)－

- 一般電気事業者間による供給区域外への供給は、これまで1件しか行われていないものの、一般電気事業者間の料金格差は縮小しており、潜在的な競争圧力がはたらいっていると評価される。

電気料金の各社比較(一般電気事業者)

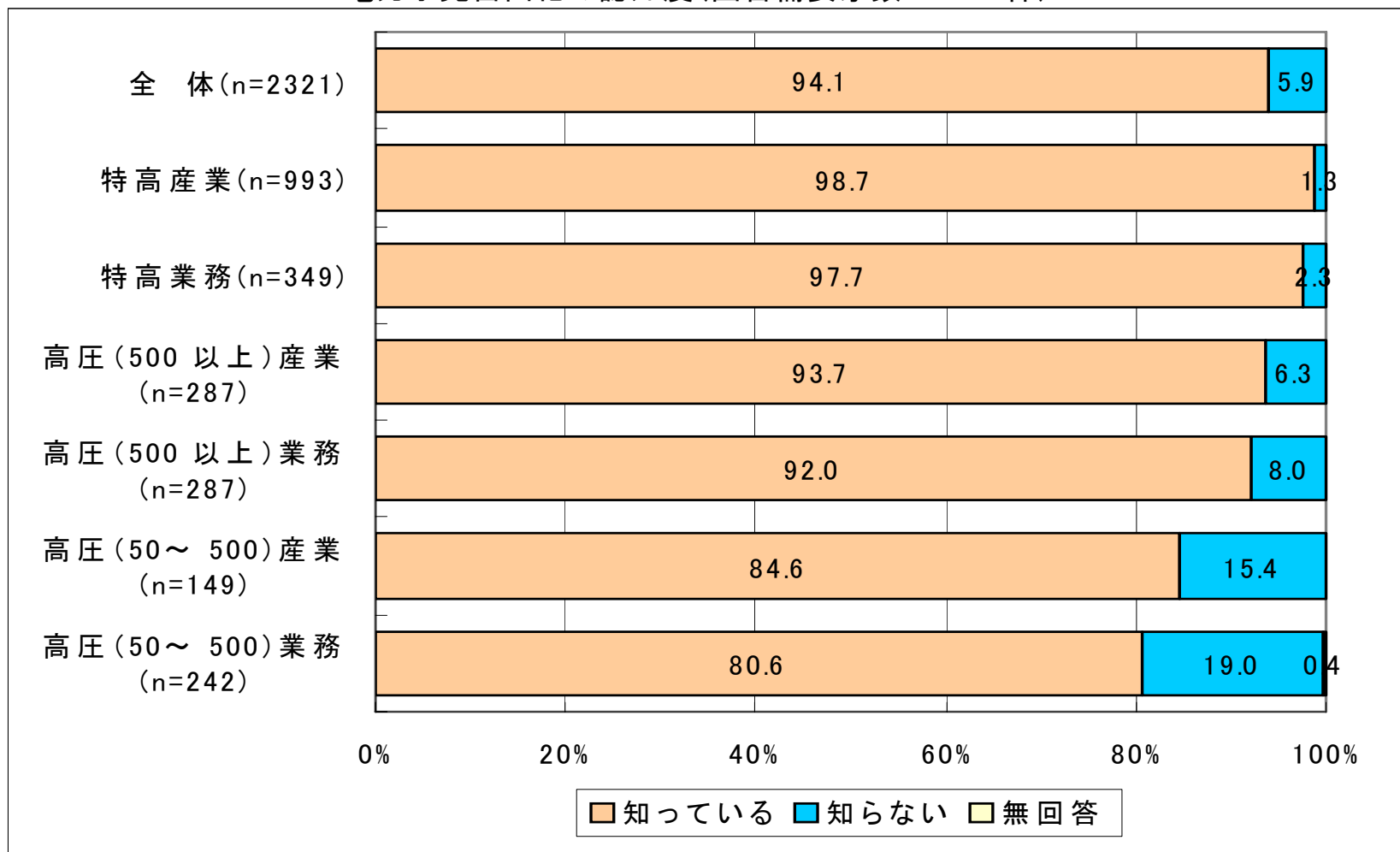


※電気料金は、電力料収入を電力の販売電力量(kWh)の合計で除した平均単価。

### ③需要家の意識(大口需要家)－電力小売自由化の認知度－

- 電力小売自由化については全体的に認知度が高いが、**高圧部門の需要家の認知度は特別高圧部門に比べてやや低い。**

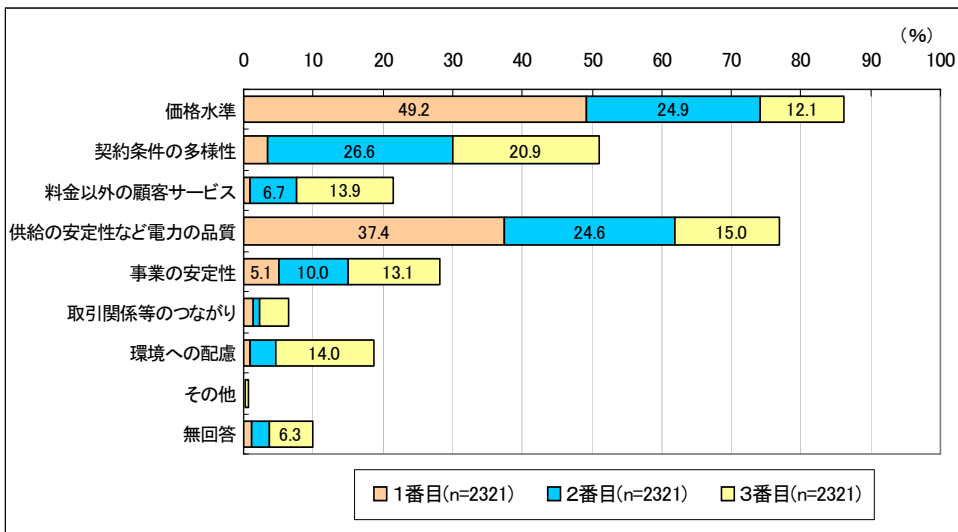
電力小売自由化の認知度(回答需要家数:2321件)



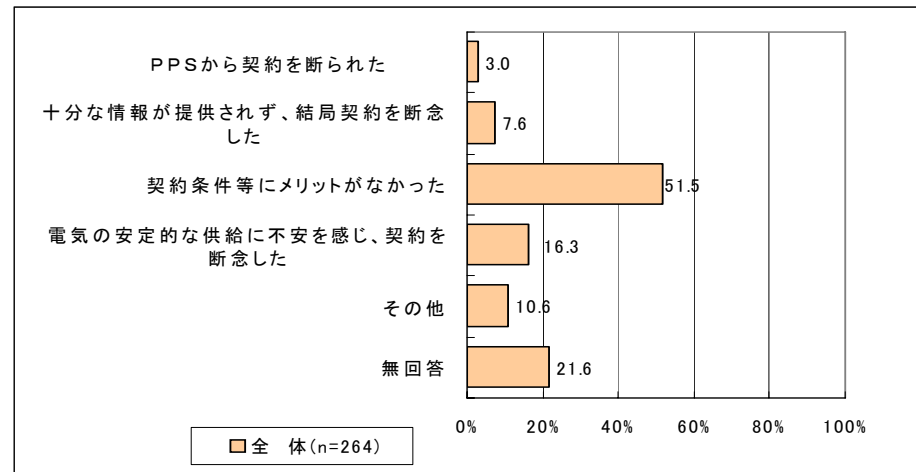
### ③需要家の意識(大口需要家)－電気事業者との契約－

- 電気事業者を選択する場合に重視する項目としては、「**価格水準**」「**供給の安定性など電力の品質**」を重要視している需要家が多く見られる。
- PPS・地元以外の電力会社を比較・検討したが、地元の電力会社と契約している理由として、「契約条件等にメリットがなかった」を挙げている人の割合が高い。
- 地元の電力会社以外を比較検討しない理由としては、「契約条件等にメリットを感じない」や「比較・検討する方法がわからない」と回答している需要家が多い。

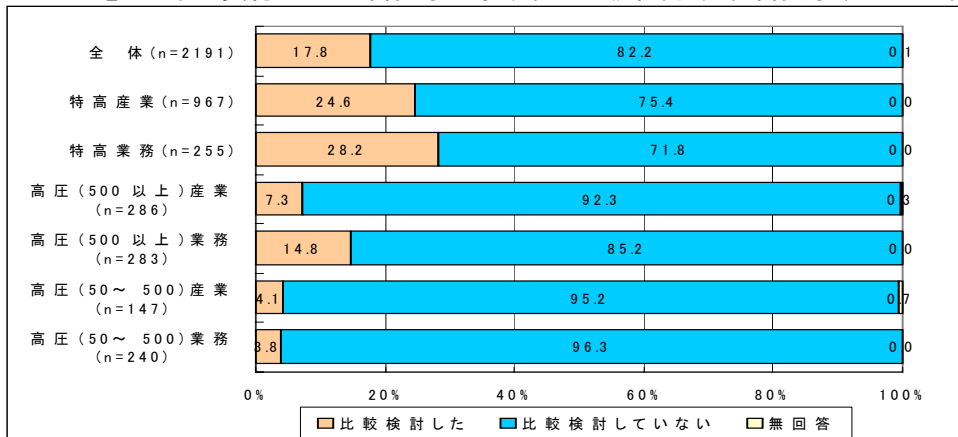
電気事業者を選択する場合に重視する項目(回答需要家数:2321件)



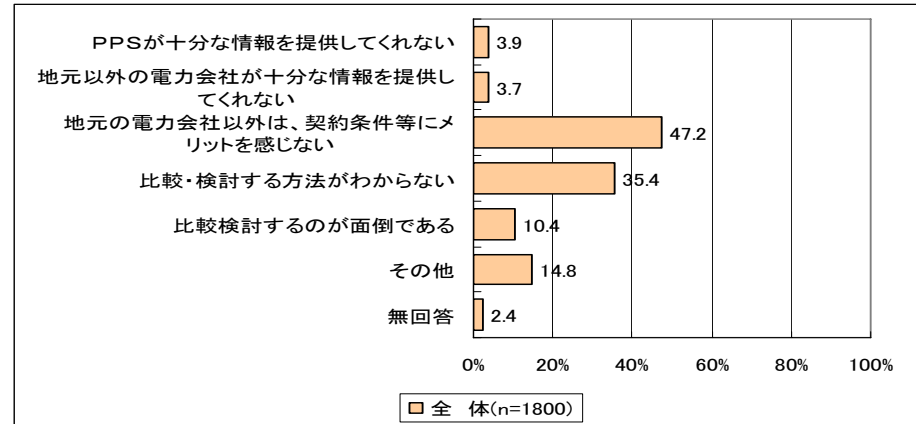
PPSを比較検討したが地元の電力会社と契約している理由(回答需要家数:264件)



地元の電力会社と契約している需要家の事業者の比較検討(回答需要家数:2191件)



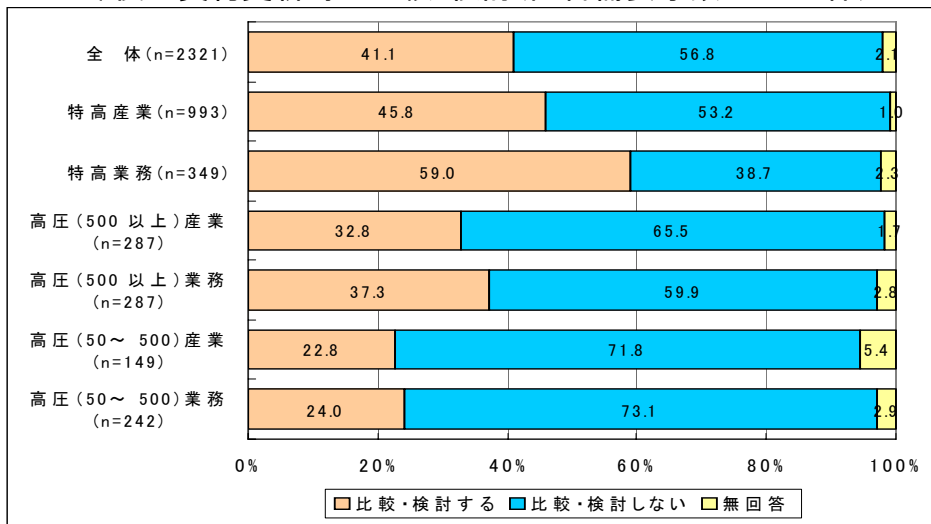
地元の電力会社以外を比較検討しない理由(回答需要家数:1800件)



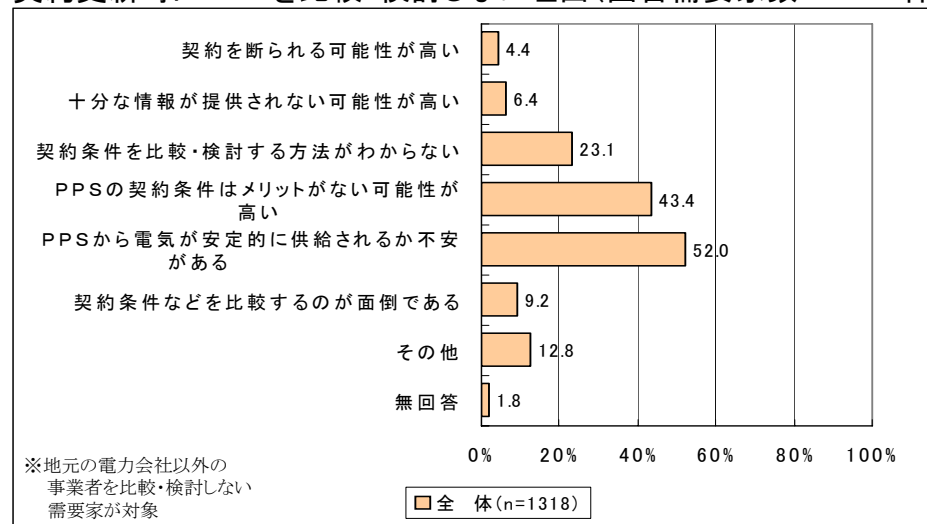
### ③需要家の意識(大口需要家)－今後の電力調達－

- 今後の電力契約の更新時に、**地元の電力会社以外の電気事業者を比較・検討すると回答した需要家の割合は全体の約40%**で、相対的には特別高圧業務用の割合が高い。
- 地元の電力会社以外の電気事業者を比較・検討しない理由としては、「契約条件はメリットがない可能性が高い」や、特にPPSについては「電気が安定的に供給されるか不安がある」を挙げている人の割合が高い。

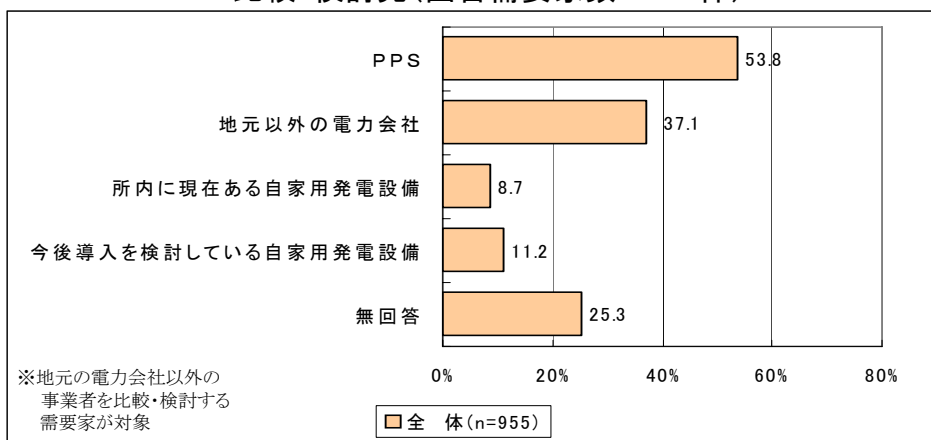
今後の契約更新時の比較・検討(回答需要家数:2321件)



契約更新時にPPSを比較・検討しない理由(回答需要家数:1318件)



比較・検討先(回答需要家数:955件)



契約更新時に地元以外の電力会社を比較・検討しない理由(回答需要家数:1318件)

